



子どもの自立と共生を目指す保育・授業づくり ～虚構(文学)体験の中にいつもと違う自分を見つける～

教育学部児童教育学科 教授 森 美智代

キーワード

保幼小連携, コミュニケーション, 自己認識, 他者理解, 当事者性

該当するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

多様な価値観が併存する社会において、子どもたちの自己表出や他者理解が難しくなっています。そうした中、虚構体験(ごっこ遊びや読書)の中での登場人物への同化・対象化体験が、自己表出や他者理解につながると考え、子どもたちの自立と共生を実現する虚構体験について研究しています。虚構世界に入ることによって子どもたちは普段とは異なる振る舞いを見せます。乳幼児期だけでなく、児童期・青年期においても、虚構世界は、自己省察と、他者との関わりを自由に想像する経験を得るための舞台となります。この舞台を保育・教育現場でいかに設えるか、日々現場の実践者と共に探究しています。



手先がまだ発達しきっていない子どもたちのためのスタンプ遊びコーナー
(文学の「形」の併別力を育む。+日本のハンコ文化)



「ことばの教室づくりのための小さな勉強会」の様子

2 連携可能性のある研究分野, 又は, これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・虚構世界との往還から自立と共生を目指す校種横断型教育プログラムの策定(科研 C)
- ・小学校国語科におけるデジタル端末で「深く読む」ための調査・実践研究(科研 B)
- ・学びのプロセスと日本語書記史を統合する学習内容・学習材・学習方法の開発と検証(科研 B)
- ・児童心理治療施設併設校の国語科教育カリキュラム開発に向けた基礎研究(科研 C)

これまでの連携実績

- ①上記に記載した科学研究費助成事業に関連する保育・教育現場(保育者・小中高等学校教員)との共同研究
- ②小中学校における外部評価委員, 国語教科書編集委員(小中高)
- ③領域「言葉」に関する幼稚園教諭向け研修講師, 国語科授業に関する小中高等学校での校内研修講師, 国語科授業に関する小中学校教諭向け研修講師, PTA 主催保護者向け講演会講師(絵本, コミュニケーション力等), 高校生向け講演会講師(ジェンダー平等の実現等)